

知っているのと星占いをみる目が少し変わる…かもしれない、運勢や性格を導き出す占星術の"タネ明かし"!
今回は、名著『ハリー・ポッター』を題材に、占星術と魔術の歴史やつながりをひも解きます。

星を読むことは「魔法」だった？——占星術と魔術が出会った歴史

夜空に輝く星を見上げ、その動きに意味を見出そうとすること。現代の私たちにとって「占星術」と聞けば、星占いやホロスコープを思い浮かべる方が多いかもしれません。一方で、魔女や魔法使いが星を読み、未来を予言する—そんな光景も、ファンタジーの世界ではおなじみですね。それでは実際の歴史でも、占星術は「魔法」のひとつだったのでしょうか。答えは、そう単純ではありません。

占星術の歴史は非常に古く、その源流のひとつは古代メソポタミアにまで遡ります。当時、天体の現象を観察することと、そこから地上で起こる出来事の兆しを読み取ることは、現在の「天文学」と「占星術」のように、はっきりと別々の分野に分けられていたわけではないようです。その後、ギリシャ世界などを経て発展した天体についての知識は、中世ヨーロッパにも受け継がれていきました。ここで少し意外なのが、占星術が必ずしも「怪しい魔術」として社会の片隅にあったわけではないことです。14世紀以降のヨーロッパでは、占星術は数学・自然哲学・医学と関わる知識として学ばれていました。中世の大学で基礎教養とされた自由七科(リベラルアーツ)にも「天文学」が含まれています。当時は天文学と占星術を表す言葉が現在ほど厳密に使い分けられていなかったこともあり、天体の運行を計算し観察することと、それが地上に及ぼす作用を考えることは、現代の私たちが想像する以上に近い場所にあったのだと思います。

中世には一方で、自然界に隠された力を利用しようとする「自然魔術」という考え方がありました。そして15世紀末からルネサンス期になると、マルシリオ・フィチーノをはじめとする知識人たちによって魔術への関心が再び高まります。天体が地上の世界に何らかの作用を及ぼすという当時の宇宙観を背景に、占星術と自然魔術が結びつく「アストラル・マジック(星辰魔術)」のような領域も形成されました。魔術そのものが同じように大学の正式なカリキュラムになっていたわけではありませんが、しかし、両者が交わる領域は確かに存在したと考えられます。

つまり歴史をたどってみると、占星術と魔術は最初からひとつだったわけではありません。けれど、「空にあるものと、地上で起こることに

には関係があるのではないか」と考えていた時代の宇宙観の中で、二つは何度も道を交差させてきたのです。そして、この「星を観察すること」と「星から意味を読み取ること」の近さは、現代の、ある有名な物語にも、似た姿で登場します。それが今回のコラムで一番触れたかった、『ハリー・ポッター』シリーズの舞台、ホグワーツ魔法魔術学校です。

★この続きはウェブ(北九なび)でチェック!

ハリー・ポッターの世界に登場する「星の知恵」や、現代へとつながる星読みのロマンの続きは、ぜひウェブサイトでご覧ください!

🌐 続きのトピックス

『ハリー・ポッター』と星の知恵(ホグワーツの授業やケンタウルスたちの星読み)
星を読むこと、現代へ(時代が変わっても変わらない人間の営みと星のロマン)



ぴったり星* Mana

JFTA公認西洋占星術士 / JAAMP公認ホロスコープ鑑定士

北九州・下関で、ママとキッズの星読み
起業家向けコンサル講師活動を実施。
出生図から個性・強み・天職を丁寧に読み解きます。



✦ ホロスコープ鑑定のご案内

■ 法人向け

Aligned Star* Consulting
アライндスター*コンサルティング
占星術×採用・人事・チームづくり
北九州/Web対応
企業・団体向け鑑定・出張相談受付中

■ 個人向け

親子・ママのための星読み ぴったり星*
毎月開催: 星読みランチ会・鑑定会
スマホで読める「うちの子鑑定書」受付中

北九なびに寄稿しています

